

野田市郷土博物館・市民会館
令和5年度第1回博物館懇談会議事録

日時:令和5年11月24日(金)17時~19時

場所:野田市郷土博物館1階展示室、野田市市民会館 市民つどいの間

出席者:博物館懇談会委員・今井清人(~17時40分)、沼野秀樹、米川幸克。
郷土博物館・杉山一男、柏女弘道、寺内健太郎、後藤智輝、奥村麻由美(書記)。

議題:

1. 常設展について

令和5年4月29日よりリニューアルした常設展について、博物館展示室にて寺内学芸員より展示解説を行った(議事録省略)。

2. 特別展「野田の剣術・剣道史」について

博物館展示室にて後藤学芸員より展示解説を行った(議事録省略)。

その後、市民会館市民つどいの間に移動し、意見交換を行った。

●意見交換

館長:展示室での説明、長くお付き合いいただいてありがとうございました。早速ですが懇談会を始めて、常設展、特別展についてお伺いしたいと思います。まず常設展示につきまして、手前みそですけども、通史的になり、結構よくできているねというご評価をいただいております。

特別展の方もちょっとテーマがテーマだったのでどうなのかなと思ってはいたんですけども、割合道場が近くにあることもありますし、昔剣道をやっていた人の関係者の方も結構おいでいただいて、懐かしいねとか色んな資料集めたねとかお褒めいただいてよかったのかなと思っています。今日御覧いただいてざっくばらんにご感想やご指摘やらいただけたらありがたいと思います。途中退席された中央小の先生にはメール等でご感想いただけたらとお話してあります。

通してご意見いただけたらと思います。

(特別展補足資料配布)

後藤:先に特別展の補足資料を配布いたします。先ほどは解説の方聞いていただきありがとうございました。今、現時点でのお話になってしまうのですが、こちらは学芸員による展示解説というのは(全4回中)3回終わったところになります。第1回が7名、第2回が4名、第3回17名の方に参加していただいて、展示解説を行わせていただきました。現時点でのアンケート合計枚数ですが90枚になります。もちろん会期まだまだありますので

この後も増えていくかなというところですね。内容について、大変よかったが58枚、まずまずよかったが31枚、悪かった1枚、来館理由は基本的に剣道史展が一番多くて54枚、イベントで来た、観光コースで来たという方、その他もいらっしゃいました。剣道が好きな方が来ているみたいで、(来館回数は)初めての方が34枚、2～5回が26枚、6～9回が8枚、10回以上は18枚になっております。

特別展の開催をどうやって知ったかというところ、チラシポスターが16枚、東京新聞さんに載せていただいたのでそれ(を見た人)で4枚きたのと、あとタウン誌が4枚、市報が10枚、ホームページ10枚、友人知人の紹介が12枚。通りかかって前の看板見てという方が3枚、SNSを見たという人、ちょっと種類は分からないんですけど、4枚という形になっています。

感想としては野田の剣術剣道史の流れがよく分かったという感想であったり、野田の歴史を違う一面から見る事が出来たということ、巡査の剣とサーベルの関係など、剣術から剣道へ変化していく様子が分かった、武術武道から見る地域の文化史が面白かった、春風館道場の歴史を学ぶことでできたというような感想をいただいております。

あとこの前、春風館道場見学・演武会というのを23日に、こちら春風館道場で行わせていただきました。こちら参加者34名で、アンケートとしては期待以上が16枚、期待通りという方が4枚でした。

どうやって知ったかというところでは、ポスターが4枚、市報が4枚、チラシが7枚、その他が7枚。感想としてはすばらしい演舞でしたとか、解説も分かりやすかったですとか、(春風館道場の)建物を初めて見る事ができました、春風館と剣道の魅力が伝わってきましたというような内容をいただきました。

ちなみに学芸員による展示解説が第3回が17名と多めなんですけれど、これは1時から1時半まで学芸員による展示解説を行って、そのあと春風館見学・演武会、これ同じ日だったんですね、元から学芸員の展示解説をしたあとそのまま演武会に来てもらうような流れにしたいなと思っておりまして、そのようなかたちで組んだ結果ですね、やっぱり第3回の展示解説が多かったのと、この第3回の展示解説でちょっと飛び入りで見学会も参加したいという人がいらっしゃって、それで参加者が見学演武会も人が多かったような流れになっているかなと思っております。

演武会の写真、白黒で申し訳ないのですが当日写真はこんな感じになります。

軽く概略だけですが以上になります。

館長：では、常設展を。

寺内：(展示の入れ替えを) やって終わりではなくて、小さいところかもしれないですけど資料の入れ替えを少しずつやって、いろんなものを皆に知ってもらう機会、そういう常設展にしたいなと思ってます。

委員：ええと、常設展の方の話なんですけど、説明を聞きながら見ていくと非常によく分かったんですが、ぶらりっていか、訪ねてきて入って、個人でただ見ていくとちょっと意味が

分からないと思うんですね。それこそ、大きい展覧会やなんかですと音声ガイドとかあったりして、この展示はこういうのを表しているものですよっていうのがあって、初めて見て分かるっていうのが結構多いと思うんですけど、ここもまさにそういうもんだと思うんですね。それもなしで、展示されてるものに対しての説明はあるんですけど、これが出てくる理由的なものがわからないとなんか半減してしまうんじゃないかって。だから2階にはこういうものが展示してありますって簡単なパンフレットの的なものがあるって、説明が聞けない人でもそのパンフレットを見ながらあーこうなのかってなる、第一段階的になるパンフレットがあるといいんじゃないかと思いましたね。それが常設展に感じて、うん、全体的な、全部の行程に言えることです。

あと剣術の方は、私全然もう、門外漢で最初はもう、あーどうなのかなって思ってたけど、最後まできいていくと野田の歴史と繋がるし、人とも繋がってきますし、非常に楽しかったんですけど、これ何も分からないであの展示だけ見るともう全然とっつけないなって、話聞いてたから繋がって面白かったと思えたのであって、もうちょっと、前段階でつなげるようなものがあったほうがいいんじゃないかって。まあ一番いいのはそれこそ音声ガイダンスなんだけどまあそうもいかないでしょうから、もうちょっとチラシ的なもので大体の流れをあれするようなものがあるっていいんじゃないかって。そのモノに対する説明は出ているんですけど、繋がるものがちょっとわからないなっていうのを感じました。以上です。

委員：常設展に関しては、これからもちょこちょここと変えていくということで、新しい野田の着目点の一つになってくれれば良いかなという気はします。

あと特別展の方は、解説があるから我々とても興味深く見せていただいて、よく分かるんですけど、この学芸員による展示解説が、会場がうちの博物館自体が小さいのでこの7名とか4名の参加者の場合多いのか少ないのかよく分からないんですけど、解説したときに、これが、人数的にもったいないかなと。あれだけの解説をしてくれるのに7名とか4名、今見たら曜日が土曜と日曜なんですけど、秋は行事が多いんで他の行事に行っちゃうのかなあっていう気がしないでもないんですが、せつかく、ちょっと、もったいな気がしました。であと、なぜか今回このポスター、すごい見る機会があったんですけど、なんででしょうか？今回やけに、宣伝活動があれだなあなんて思って、今回やたら見たんですけど。

寺内：一緒だと…基本的には。

委員：じゃあたまたまですかね？よくわからないけど、随分宣伝に力はいってんなあって印象なんですけど。

寺内：デザインが良いし、印象的なんですかね。

委員：うん、今回やたら目についたんですよ。まあ今回たまたま、大澤さんとか大野さんとか知り合いが出てたからかもしれないけど。なんか今回目立ったなあという気がしました。

館長：いまいただいた意見で。学芸員の方からなにかある？柏女さんはなんかあるかい。

柏女：そうですね、常設展の方は入れ替えはできればやっていきたいなというのはあって、1回、4月29日にオープンしたんですけど、その後、2階で説明していた登録有形文化

財のプレートとかとか、横の櫓時計ですとか、それから一番最後にあった商店街の写真とか、あちらは7月の展示替えに合わせて追加したりしたもので、ほかのコーナーもちょっと写真を追加したり、なかなか大きく入れ替えは難しいですけど、テーマの骨子は変わらずに少しずつちょっと、手を入れられたら良いなと思っています。

館長：他には？

寺内：仰っていただいたように説明、前提みたいなところですね、前室みたいな、よく博物館に行くところある、展示が本格的に始まる前にワンコーナーあって、そこでちょっと前置きがあってみたいな、そこがなかなかうちだと難しいというのがあるので、そこをうまくフォローできるものがあっての方が確かに良いのかなというのは、貴重な意見として、ありがとうございます。

館長：特別展担当の後藤さんは。

後藤：ありがとうございました。やはり今回春風館道場が近くにあるということ、剣道人口もそれなりにいらっしゃるということで、基本的に来ていただいた方は剣道やってた方であったり、あと大澤専二さんのご子孫の方、大澤さんとか地元の方も来てくれたり、あと第二中学校のお話、篠田正六さんに剣術教えていたという第二中学校の生徒さんであったり、親しみがある方が来ていただいているのかなと、そこから口コミで広がってきているのかなという感じはしております。

確かに剣道全く知らない方だとその部分は難しかったのかなと、今回ご意見として参考になりました。ありがとうございました。

館長：どうもありがとうございました。そうしたらこのその他のところ、次の展示について。

柏女：チラシの方ですが、今の剣術の展示の次ですね、来年の1月から開催する展示なんですけど市民の文化活動報告展という枠でして、博物館が企画主導でやるのではなくて市民の文化活動されている方々、いろんな団体さんの活動成果を博物館で発表するというもので、今まではむらさきの里野田ガイドの会とか野田地方史懇話会とか、いろんな団体さんの方がやられていて、今回は野田もの知り検定企画実行委員会という方々です。ご覧になったこともあるかもしれませんが、こういうもの知りクイズ、こういうクイズ冊子を作っているわゆるご当地検定に近いようなものなんですけど、子供たちに向けたもので、学校に配布したり、教育委員会と一緒にやられたりしている方々で、その方々の活動の成果を展示室で発表するという展覧会になります。

タイトルが「知れば知るほど知りたくなる わたしたちのまち 野田」ということで、野田にいろんなものがあるのを、こんな魅力があるよというのを結構広く紹介をしたいなという、そういう方々の展示になります。ターゲットとして子供というか、あと親子とか、これから野田に住むような方々が野田の魅力を知って好きになってほしいという、そういうところがターゲットになっておまして。あと展示の中にクイズ端末を置いて、クイズを作ってるような団体さんなので展示を見てちょっとそのクイズに答えてみようとか、そういう仕掛けができるような展示構成を今考えております。おそらく今年度2回目の博

物館懇談会がこの展示期間中にあるかと思いますが、またそこでご説明をさせていただきます。

館長：今お話しありましたように、また2月か3月に懇談会を開催したいと思いますのでその時にこの展示をご覧いただき、年間の事業の報告やら次年度の事業のご案内をさせていただきますと思います。

あと近々で一つだけお知らせしておきたいのは1月27日に山中直治のコンサートを櫛のホールの小ホールでやるつもりでおります。去年も開催、中央小と南部小の児童と、山中直治を歌う会でやりました。

それで今年も同じような構成で中央小、南部小の子どもたちとやるということを考えておりますのでお時間が許せばお出かけいただければと思います。

特に山中直治については中央小の先生だったり梅郷、南部小の出身者であったりでそういう意味で両校が歌っていこうとご協力いただいていることなので、よろしく願いいたします。

奥村：すみません、あとミュージアムグッズのお話、案内だけ。

(缶バッジ見本配布)

今年の常設展のリニューアルに合わせてグッズも作りたいとなっていて、今ミミーちゃんの缶バッジをご覧になったことあるかと思うんですけども、ちょっと大人向けというか、資料版、野田市郷土博物館に来たという記念になるというような、お土産になるものという、そういうコンセプトで作ったんですね。それが非常に好調というか、そちら160個作ったものが三か月でもうなくなっちゃった。それは再発注分で、よかったらお好きなものをお持ちください。

委員：160個はすごいね。

奥村：あと、展示室でご覧になったか分からないんですが、トートバッグ、黒字に白い。(見本紹介)

館長：やっぱりお土産としてがちゃがちゃなんかだと射幸性もあってやるんですよ。

委員：いくらです？

館長：100円。

委員：100円か、じゃあとつつきやすいね。

奥村：これ(トートバッグ)が醤油の絵がプリントされているもので「NODA CITY MUSEUM」って入っている。他の博物館さんであるの見て、超ほしい!と思って作って、このマチとか生地こだわって。

委員：それはおいくら？

奥村：800円です。

委員：いい線ですね、(トートと)缶バッジ二つ買ってちょうど1,000円ですね。いいかもしれない。

柏女：資料缶バッジの方は大人の方が回したり、ミミーちゃんの方は子供たちが回すので、

大人の方たちが。

館長：どれでも、お持ちください。

奥村：そういう面でもこれから楽しめるといえるか、発信の方法として、種類とかもね、一筆箋作りたいねとかいろいろと話をしているので増やして作っていきたいと思っています。

(終了)

※途中退席された委員より、後日メールにて感想をいただいた。

時間の関係で、常設展示のみの見学でしたが、細かい部分まで説明していただきながら見学をすることができ貴重な機会となりました。ありがとうございました。

川に囲まれた野田市が地の利を生かして発展してきた様子がわかりやすく展示されていました。

醤油づくりの工程の展示では、拡大された写真を背景に展示していたのがとてもよかったです。写真があると、当時の作り方や苦労が伝わりやすいと感じました。また、醤油樽に各家を表すマークがつけられています。実際の醤油樽や看板が展示されておりわかりやすかったです。個人的には、相撲の番付表を模して作られた表がとてもわかりやすい資料だと感じました。

郷土博物館が国の有形登録文化財に登録されており、とても趣深い建物であると改めて感じました。採光の工夫等が施されているなど、説明を聞いて初めて知ることができたので、そのような説明をするスペースがあってもよいのかと思いました。

中央小学校も国の有形登録文化財に登録されるなど、野田市には貴重な建築物が本当に多く残っています。その特徴をもっともっと PR して、野田市民をはじめ、他市や他県に知らせていきたいと思いました。そして、最後の展示写真の昭和 37 年頃の商店街の写真のように、活気ある野田市へと発展していければと思います。